

大腸ポリペクトミーを受けられる方へ(1泊2日)

患者氏名( ) 主治医( ) 担当看護師( )

|       | 当日  |   | 1日後   |
|-------|---|---|---|
|       | 術前  | 術後  |   |
| 達成目標  | ①不安が表出できる<br>②治療の目的を理解することができる<br>③合併症の内容を理解できる   | ①痛みがない<br>②嘔気・嘔吐がない<br>③下血がない<br>④便の色が正常  | ①痛みがない<br>②嘔気・嘔吐がない<br>③下血がない<br>④便の色が正常<br>⑤退院が可能である                                 |
| 注射    | 入院後、絶食のため点滴を開始します。                                |    |   |
| 処置    | 便の排泄が不十分の場合、浣腸処置を行います。                            |   |   |
| 検査    |   |   | 朝に採血があります。  |
| 安静度   | 歩行可能です。内視鏡室へは歩いて行きます。                             | 内視鏡室から車椅子で部屋に戻ります。帰宅後歩行し可能ですが、出血しやすいためできるだけ安静にしてください。                               |   |
| 食事/水分 | 絶食です。水・お茶は飲めます。                                   | 絶食です。水・お茶は飲めます。   | 採血結果がよければ朝食から食事が始まります。  |
| 留置物   | 点滴針を留置します。  | 点滴終了後も針は留置したままで、翌朝の採血の結果で問題がなければ抜きます。   | 採血結果問題なければ点滴の針を抜きます。  |
| 観察    | 便の性状をお知らせください。                                    | 検査後も便の性状をお知らせ下さい。出血などある場合は流さずトイレからナースコールでお知らせ下さい。                                   |  |
| 薬剤    | 必要時に薬剤師より点滴、内服薬などについて説明します。持参薬がある場合、看護師へ提出してください。 |  |   |
| 説明    | 処置の流れを説明します。承諾書を提出してください。                         | 腹痛や嘔気があれば、すぐにお知らせ下さい。不安な事や分からない事があれば遠慮なく看護師へお聞き下さい。                                 | 退院後の生活については、次のページをご覧ください。次回の外来受診日をお伝えします。   |

## ～退院後の生活について～



### <食事>

消化がよく軟らかいものを摂りましょう。固いものは出血を引き起こす原因となります。また、刺激物も避けましょう。アルコールやタバコは基本的に2週間は禁。

### <入浴>

熱い湯・長風呂は出血の原因となりますので避けましょう。

### <排泄>

便の状態を観察しましょう。

胃：黒っぽい便であれば出血の可能性があります。

腸：赤っぽい便であれば出血の印です。

※上記のようなことがあれば病院に連絡をし状態をお伝えください。

